

ここに注目！ 商店街のおかみさんが創業を志す若者を支援、  
空き店舗を活用して新しい価値を創造する。



### ポイント

商店街組織のみならずNPOや商工会議所などの他団体と連携しながら、新しい発想による空き店舗対策や集客効果を目指した商店街活性化策に自主的に取り組んでおり、本年6月に策定された「“ちいさな企業”成長本部行動計画」における「空き店舗活用など商店街を活用した起業・創業を促す環境作り」などを全国に先駆けて実施した。生活相談など商店街のおかみさん方の温かい支援等により、若者が多く起業し、商店街の半数近くあった空き店舗がなくなるなどの成果を挙げている。

#### [商店街概要及び取組の背景]

### 御田町商店街ができるまで

下諏訪町は、明治期に製糸工業が勃興し、戦後は機械精密工業のメッカとして、国内でも有力な内陸の工業集積地として発達してきた。その中央に位置する御田町商店街も、明治44年、近隣に製糸工場が開業したことを契機として形成され、工業者やその家族の消費を支えることで共に発展してきた近隣型の中核的な商店街である。

近年では、モータリゼーションの進展等により、昭和の終わりから平成にかけて往来人口が減少したことで、廃業する商店が目立ち、平成14年には約30件あった店舗の半数が空き店舗となった。

#### [取組の概要・効果]

Plan・Do

### 世話焼きな「みたまちおかみさん会」

15年前に商店街のおかみさん方で結成された「みたまちおかみさん会」と、まちづくりの活性化に取り組む「NPO匠の町しもすわあきないプロジェクト」が連携し、空き店舗を利用した若者の起業支援を行うとともに、



賑わいを取り戻している商店街

事業以外の相談を受ける、生活のお世話をするなど温かい支援を行い、起業した若者の定着率を高めた。

結果、ものづくり系のクラフト作品を販売する店舗などの付加価値の高い製品を売りこめる若い出店者が集積することにより、他の商店街にはないモノがあると消費者に感じてもらえるブランド化に成功した。

#### [効果の評価と改善策の実施等] Check・Action

### そして空き店舗が無くなった！

延べ25店舗を超える起業支援及び町外事業者も協力する御田町のまちづくり活動によって空き店舗がなくなり、ウェイティングリストができるまでになった。新規開業者は、事業を展開していく中で御田町の価値を高め、ヨソ者という立場から街を支える立場になってきており、御田町商業会青年部の設立も含め若年者層の交流が図られるなどの効果が得られている。

現在は、製造業関係者の参画により得られた情報の共有化やイベントの進捗状況管理などPDCAサイクルの活用により、若い起業者たちが中心となり首都圏を中心に御田町の魅力を発信する『御田町スタイル』というブランディング活動や、地域アイデンティティの醸成により、新規顧客の開拓に向けて取り組んでいる。

## [実施体制]

### これからの御田町商店街

御田町商業会を中心として、「NPO匠の町しもすわあきないプロジェクト」や下諏訪商工会議所が運営支援を行いながら、商店街活性化に向けた取組を実施している。

起業者が地域コミュニティへスムーズに参加できるように商店街のおかみさん会が事業以外の相談を受ける、生活のお世話をするなど「おせっかい」をしている。また、おかみさん会活動の一環として、御田町への出店希望に応えるための空き物件の掘り起こしや入居交渉、家賃交渉等を行っている。

東京工業大学や和歌山大学、広島大学と協力しながら商店街の情報発信やおもてなし、魅力アップに向けた専門家の活用をしている一方で、商店街留学など研究フィールドの提供を行っている。

## 基本データ

所在地：長野県諏訪郡下諏訪町御田町

会員数：43名

店舗数：42店舗

関連URL：<http://mitamachi.com/>



「みたまちおかみさん会」の活動風景



## キーパーソン

御田町商業会

青年部部长 河西 優子

## 小さな町の小さな商店街

御田町商店街は小さな町の小さな商店街です。空き店舗が増え始めた15年前に、私の母を含む商店街のおかみさんたちがおかみさん会を発足しました。初めはイベントやギャラリー設置などよくある活動をしていましたが、なかなかうまくいきませんでした。

しかし、「NPO匠の町しもすわあきないプロジェクト」が発足し、「商店主ではない人々」と連携して「商店では思いつかないアイデア」「自分たちでは気が付かない考え」を柔軟に取り入れ活動することで、空き店舗はゆっくりと埋まっていきました。

新規開業者の廃業、転居などもありましたが、「あせらず、ゆっくり」を合言葉にし、「おばちゃんのおせっかい」的な温かい支援を行ってきました。そして若者たちと「より良いおとなりさん」として暮らしていく

事で「この街に暮らすという幸福」を、お互い感じられるようになってきたと思います。そこに住む人たちが「しあわせである」という事は何よりも商店街の発展に大事な事であると思っています。

## 幸福度ナンバーワンの町を目指して

昨年から、青年部有志を中心に若者が企画し、運営するイベント「少年少女の星コスモス」を始めました。実際に若者のみでイベントを運営することで、より一層「今まで、いかに自分たちが支えられてきたか」を実感する良い機会になっています。また、イベントを通じて地域の児童との交流や他地域の商業者との交流も始まっています。

今後の課題は、ずばり世代交代です。

御田町は70代60代のあとは、30代20代の店主しかいません。

今まで、温かく見守り支えてきてくれた皆さんに感謝しつつ、より良い商店街、楽しい幸福な町を目指して、ゆるやかながらも自覚を持った世代交代をしていかないといけないと思っています。